

市町村捕獲計画書

年度	振興局名	市町村名
令和 8 年度	空知	月形町

【事業実施区域の基本情報】

住所等	土地所有者	メッシュ番号
月形町中野、赤川、札比内 ほか	月形町ほか	ツ 0 4 2、ツ 0 5 1、ツ 0 5 2、ツ 0 5 3、ツ 0 5 4、ツ 0 6 1、ツ 0 6 3

【実施地域の概況】

条 件		状 況
生 息 状 況		近年、市街地周辺エリアや住宅・農地付近への出没が確認されている。
地 形		平坦な地域には住宅地が広がるが、その近傍に起伏の激しい山林が広がる。住宅地及び山林が近接している。
餌 資 源 量		夏期は餌資源となる草本植生は減少するが、秋期はドングリやヤマブドウ等が餌資源となっていると見られる。
周辺 環境	希少動植物	希少猛禽類が渡りの中継地とするほか、営巣も確認されている。
	人間活動	作業道が整備されているが、関係者以外の立入は制限されている。
そ の 他		人の生活圏と野生動物の生息地が近接しており、ひとたび出没すると農地や住宅付近で出没が続くなど、生活環境被害が生じている（昨年度出没対応件数：22件）。

【捕獲事業の内容】

月形町は、北海道の中央西部、空知管内の南西部に位置し、人口2,791人が暮らす、米、花き、果菜を中心とした農業が盛んな地域である。平坦な土地に住宅地が広がり、山林には赤川鳥獣保護区等が所在しているなど、人の生活圏と恵まれた自然環境が近接している。

近年、須部都川や中小屋川等を伝って、住宅や農地、市街地周辺へのヒグマの出没が確認されており、生活環境被害や交通事故等の発生が懸念される状況となっており、当該地域における将来的なヒグマの生息域の拡大や市街地等への出没を抑えるため、ゾーニング計画に基づいた捕獲を実施することで、人里周辺における個体数の減少やヒグマへの人に対する警戒心の植え付けを図る。

【猟法・捕獲手法】

事業区分	猟法 (捕獲手法)	実施期間	場所	目標 頭数	考え方等
ゾーニング 計画に基づ く捕獲	銃猟、わな猟(電 気止めさし)	R8.5月～ 11月 (各期間中に 90日間実施予 定)	月形町 赤川、 中野、 札比内 ほか	5頭	・過去月形町内において捕獲実績 がない状況だが、猟友会からの 聞き取りによって頭数を決定 ・当該地域は林野であることから、 矢先の確認や射撃場所に十分 注意して実行する。

【実施体制】

区 分	担 当
月形町住民課生活環 境係	捕獲事業の統括、空知総合振興局への捕獲許可申請手続き
岩見沢猟友会月形支 部(捕獲従事者)	捕獲事業の実施(従事)、捕獲個体の処分等対応、

【関係法令、規制等】

根拠法令等	概 要	申請先	備 考
鳥獣の保護及び狩猟の適正 化並びに管理に関する法律 第9条	捕獲許可証交 付	北海道知事 (空知総合振興局)	捕獲除外区域から赤川鳥獣保 護区を除外

【捕獲個体の回収・処分方法】

可能な限り試料採取することとし、捕獲個体については、一般廃棄物処理とする想定。
有効活用できる場合は、可能な限り有効活用する。

処理区分	対 象	主な搬出先	住 所
一般廃棄物	捕獲個体	月形町衛生センター	月形町字知来乙 957 番地 1

【事業費とその算定方法】

経費の区分	事業費の額	内 容	算出の方法
出勤報酬	1,350,000 円	捕獲活動、わな巡回の従事 者に対する賃金	7,500 円/日(4 時間未満) ×90 日×2 名
報奨金	200,000 円	止め刺し、駆除を実施した 際の報奨金	止め刺し 20,000 円×5 頭 駆除 50,000 円×2 頭

費用弁償	199,800 円	わな巡回の費用弁償	往復 30km×37 円×90 日×2 人
備品購入費	3,766,620 円	はこ罟、センサーカメラ、電気止めさし等の購入費用	
消耗品費	105,900 円	わな用餌、ヒグマ対策スプレー等の購入費用	
合計	5,622,320 円	－	－

【実施結果】

※ 実績報告時に、当初予定されていたとおり事業が適切に実施されたか記載すること。

【その他】

※ 特記すべき事項があれば記入すること。

指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画 位置図

